

東北森林管理局

山形森林管理署 もがみ支署通信

銅山川地区地すべり防止事業 検討委員会を開催しました

大蔵村銅山川地区で平成4年より実施している地すべり防止事業が、来年度で27年目を迎えます。これまで、地域のご協力を得ながら、地すべりの要因となる地下水を取り除くための総延長6kmにも及ぶ排水トンネルや集水井など様々な対策工を実施してきました。

1月19日には、これまでの地すべり対策工についての実施状況と効果の分析・評価、今後の事業の必要性・対策などについて検討する委員会を山形市で開催しました。

当日は、大学等研究機関や東北森林管理局、県、村の関係者、約30名が出席し、活発な議論が交わされました。また、当日の検討委員会に先立ち、昨年10月には関係者による現地視察会も実施しました。

東北森林管理局では、地域の安全・安心の確保に向けて、今後さらに関係機関との調整を行いながら、検討を深めてまいります。



検討委員会の様子



現地視察会の様子(H28年10月)



チェーンソーによる伐倒



伐採木の集材作業



丸太のはい積み作業



販売される丸太

冬山でも木材の伐採作業を行っています

今冬は初雪も早く、厳しい寒さが続いています。国有林の現場(森林)ではこの雪にも負けず、立木の伐採・搬出作業を行っています。

立木の伐採は、主にチェーンソーで行います。その後、伐採木を作業道や林道沿いに集材し、枝払い、測尺(2m、3m、4m)しながら玉切りしていきます。2、3、4mに玉切りされた丸太は、林道端に運搬され、長さや径級の大きさ毎にまとめて、はい積みしていきます。

積まれた丸太は、その後木材関係者に販売されています。用途に合わせて様々な加工されて、皆さん(消費者)に届きます。

※左写真はいずれも舟形町内国有林

地域の祭りに参加しました

1月7日、大蔵村肘折地区に伝わる「肘折温泉さんげさんげ」に参加しました。さんげさんげは、地域の無病息災や商売繁盛を祈る祭りで、出羽三山信仰の越年行事として行われているものです。

雪の舞う中、厳かな神事に続き、行者姿の地域住民などがホラ貝を吹きながら、今年一年の幸福を願いつつ温泉街を練り歩きました。

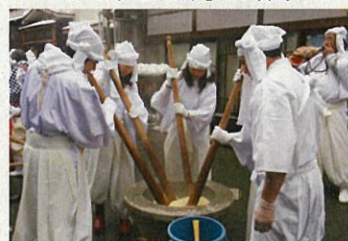
最上支署では、このような地域の祭りや様々な行事に積極的に参加し、地域の方々との親交を図るとともに、地域のニーズや要望の把握に努めていきます。



「さんげさんげ」の神事



温泉街を練り歩き



行者姿の参加者による餅つき



振る舞われた餅も大盛況!



山形森林管理署 最上支署

TEL:0233-62-2122/FAX:0233-62-2706

〒999-5312 山形県最上郡真室川町大字木ノ下新林1793地内(仮庁舎)

